

2015年1月31日(土)「新春「府中寄席」桂扇生の落語会」

新春恒例の「府中寄席」。囃手は隔年でお迎えしている桂扇生さんです。今年もご盛興をいただき、予約も数日で満席となりました。



前日に雪が降り天気が心配されましたが、当日は晴天に恵まれたたくさんの方にご来場いただきました



演目は「長短」と「味噌蔵」。「長短」は気の長い長さんと短気な短七、なぜか気の合う二人のやりとりがまったりと和やかにすすむ、滑稽なお話です。「味噌蔵」は、味噌問屋の

ケチな旦那けち兵衛さんの留守の間に日頃の不満が溜まっていた使用人たちが憂さを晴らして大騒ぎ。しかし、そこへ一晩帰って来ないはずの旦那が突然帰って、使用人たちは大慌て！ メリハリのある対象的な演目でしたが、どちらも会場が大きな笑いに包まれました。生で聞く落語は迫力が違うとの感想をたくさんいただき、皆様、噺家の話芸にご満足いただけたようでした。

来年の府中寄席は三笑亭可龍さんをお迎えして行います。ぜひご期待ください。



会場内で落語や江戸の文化に関する本を展示しました。